

下紺屋町分館報

発行所 / 下紺屋町分館
責任者 / 山浦 正孝

上田市中央西1-4-38 電話 25-0995

ふれあい

幸せな明るい人生!!
町民は共に生きよう
ふれあい健康人生!!

に従事する皆様のご苦労も多
いとも言えます。(伝統の力と
でもいか特に伝統行事につ
いてはそれぞれに役割を心得
ていて事がスムーズに運ぶ一
面もあり大変有難い事です)
皆様に対して暖かみが伝わ
るよう心底から労っていたか
どうか、私は年頭に口幅った



「みんなで楽しいドンド焼き」 撮影 荒井 潤氏

く「下紺に暖かい風が吹くよ
うに」申し上げた事を想起し
忸怩たる思いです。
世相柄、苛立つ事も多いの
ですが、せいぜいお互いに相
手を思いやる心のゆとりを持
ち笑顔でふれ合える、明るい
町づくりの為に努められたら
と願うのです。



ふれあいは笑顔で……

下紺屋町自治会長 宇野 正夫

「ある小さな出来事に想う」
先日交差点で信号待ちの後、
青信号で発進しようとしたが、
横合いからの救急車のサイレ
ンに思い留まる。すると後続
車からクラクション。
「早く行け！」というのだ。
この間ほんの数秒です。
下紺は、比較的行事が多く
ふれあいの場がより多いとも
言えますが、それだけにそれ

やさしさと思いやりある向こう三軒両隣



思いやりの大切さを。

下紺屋町分館長 山浦 正孝

ヨーロッパを含む先進諸
国が、百年以上の歳月をか
けて達成してきた長寿社会
をわが国は第二次大戦後の
五十数年という極めて短い
時間で他に類を見ない長寿
社会を達成させました。
国民の努力の他、この間
他国との戦争状態にならな
かったことも大きな要因と
云えるでしょう。
しかし、この急激な高齢
化社会の実現は、もう一つ
の社会現象の出生率の低下
と共にさまざまな不安要因
をもたらしてきています。
表題の「思いやり」とい
う気持は、弱者への同情、

街づくりは、ふれあいから……

福祉推進委員 洪沢 茂代

ふれあい友愛訪問をさせ
ていただいでから二年目に
なりました。七十才以上の
お独り暮らしの方に八人の
フーマーさんで月二回訪問
させていただいております。
大変なときもありますが、
うれしい事もあります。お
うかがいするたびに「あり
がとう。」と喜んでくださ
ったり、時々散歩の途中
にお行き合います方もいて
「又行き合えてよかった。」
と握手をして下さったり、
逆にはげまされたりします。
それぞれのお宅の庭のきれ
いに手入れされた花や植木
等も楽しませてくれます。
私共は主に高齢者を対象

にふれあい活動をしており
ますが、町の行事等にも出
来るだけ参加して交流をは
かるようにしております。
昔の御近所はもつと身近な
存在でしたが今は余りに便
利になりすぎて人様の力を
あてにしなくてもよくなり
余り立ち入りすぎると迷惑
になる場合がありますので
むずかしいところです。で
もやっぱり世間とのつなが
りは人と話すことと、顔を
合わせる事が一番かと思
います。まだまだ充分とは
いえない福祉活動ですが、
御理解をいただきたいと思
います。

みんなの町

三申一年 大口 秀造

僕達は、たくさんの方の行
事の中で、自治会のみなさん
育成会の人達に、たいへん
お世話になっていると思
います。小学校の時、特にス
ポーツ大会です。みんなの
力がひとつになり、頑張れ
たと思います。中学に入っ
てからは、行事に参加する
事がなくなりました。だけ
ど、下紺の生徒は、他の地
区の人達よりも、絶対に仲
がいいです。それから「や
る時は、やる。」という事も
です。この事も、たくさん
の行事から、学んだことだ
と思います。

この町へのお願い

西小六年 宮下 光世

私達が安心して遊べる場
所が八まん神社でした。
春の町別子供会で、八ま
ん神社に不審者が出ると言
う意見が出された事で、安
心して遊べる所が無くなっ
てしまいました。それでも
車も通らないし、近くには
人家も多く、私達にとつて
は、一番安心して遊べる所
だと思っています。
大人の人や友達と遊んだ
り声をかけあったり、愛の
鐘が鳴ったら帰るなど、私
達一人一人が心がける必要
があると同時に、みんなが
安心して過ごせる町作りを
して行きたいと思えます。

初春どんと焼き

旧西小 P T A 支部長
藤井実千代

一月十三日、午前九時、高く積み上げられた達磨やお正月飾り、子どもたちの書いた書き初めに午年生まれの子らを中心に点火。勢いよく燃え上がる炎。どの子の顔も紅色に染まる。八幡神社の境内の樹木、お社はこの光景を何十回、いや

恐らくもつと長い間見守ってきたにちがいない。子どもたちの顔触れは変わっていきが、そこには毎年変わらぬ風景がある。
柳の枝の調達から始まり前日のまゆ玉作り、当日早朝の櫓の組み立て、すべて地域の方々の支えなしではできない事はかりである。
まゆ玉を早く焼きたいと焦る気持ちを抑える子どもたち。ようやく激しい炎も

我が町の三大祭り



夏の祭典 “ぎおん祭”

花園四部第三部長
宮島希予人

雨に祟られた昨年とは違い、今年は二日間好天に恵まれ、真夏の太陽の下、大人も子供もいい汗を流し、夏祭りを満喫してくれた事と思います。
今年の理事という事で総務委員長の大役を頂き、何も分ならず、周りの皆様にも

出来ました事、この場をお借りして御礼申し上げます。少子高齢化が進み、夏祭り等の行事を中止した自治会もあると耳にします。下紺自治会にも、少子化、高齢化の波が押し寄せていますが、これからの子供達の為にも伝統や文化を守り、引き継いで行く事は、私達大人の責務だと思います。
お年寄りの知恵と若者のエネルギーが夏祭りの活性化の力ギと感じました。

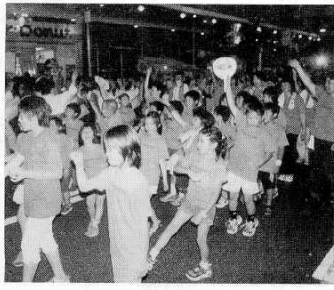
小さくなり、皆それぞれに焼き始める。ほどよく焼き上がったまゆ玉を口に入れる。「ああ、春の味」子どもたちの笑顔がまぶしい。
~~~~~  
ご迷惑をかける事が多くありましたが、多くの皆様に支えて頂き、何とか責務を果たすことが

### 上田わっしょい!

民踊部 土屋 豊枝



七月二十七日、第三一回の上田わっしょいが、天候にもめぐまれ、大勢の踊りの連がで、夏の一役を、楽しく過ごす事が出来ました。下紺屋町でも、自治会長さん、分館長さん始め、大勢の方々の御協力に依り、大きな連ができ、日頃の忙しさも忘れ、いい汗を流しストレス解消が出来たのではないのでしょうか。  
各、連が嗜好をこらした服装に、アレンジした踊りにと、若い人達の身軽さになりよと羨ましさを感じながら、希望と、頑張ろうと元気を頂いた一時でした。



### 夏の風物詩 わが街の美男女勢揃い 盆踊りの夕べ

八幡二部 沓掛 節子



屋間の灼熱の太陽が沈みようやく涼風が吹く宵、懐しい太鼓の音と共に恒例の盆踊りが始まりました。今年から十三日は各御家庭の行事を考慮して十四日から三日間の開催となりました。  
が老若男女多数の参加を得て……とはいかず民踊部の方々のリードで子供達が大量参加してくれました。○音頭△△節とにぎやかな歌に合わせて踊る輪を見ていると本当に楽しそうに飛び入りで参加する人もいました。舞台の上で御手本を踊ってくださった民踊部の方々はさすがにすばらしく、それを見ながら一生懸命踊る人達の姿が何とも微笑ましく、いいのよ、いいのよ、それでもいいのよ頑張つて！と思わず声をかけて上げたくなりました。最終日はとても大勢の方が参加されて九時を過ぎてもまだ名残惜しそに踊っていました。来年も又楽しく踊りました。

### 思い出の焼芋会

大樹会会長 松尾 益幸

真田昌幸が上田城鎮護のため海野から移した応神天皇を祭神とする八幡神社には千石氏が奉納した文化財の大給馬や保存林指定の樹齢数百年の樺の大木がある。この樺の森は真夏の陽差しを和げ地域に憩いの広場を与えてくれている。大樹会は毎年四月から十一月まで五日と二十五日に八幡神社にいだいの清掃美化活動を続けている。十一月二十五日は清掃作業の最終日で作業終了後は焼芋会を楽しんできた。積み上げた落葉の焚き火を二十数人の会員



### 下紺屋町商工振興会協力

**北信セメント**  
電話 22 - 1647

**宮下胃腸医院**  
電話 22 - 4328  
FAX 26 - 8231

**(有)さくら土地建物**  
電話 26 - 4300  
FAX 26 - 4301

**栄 食 堂**  
電話 22 - 8704

**丸尾瓦店**  
電話 22 - 0382  
FAX 22 - 1389

**いさみ寿し**  
電話 22 - 7134

**トーワ不動産建設株式会社**  
電話 25 - 2712  
FAX 25 - 2738

**山忠青果店**  
電話 24 - 8880

# 我が町の三大催事!!

## 23回西部地区運動会

こども会育成会長  
石巻 一男



心配された天気もなんと  
かもち、無事に終了するこ  
とが出来ました。町内の多  
くの方々に参加いただき、  
また、昼には豚汁もご用意

## 町内スポーツ大会と恒例芋煮会

青少年育成推進委員 一ノ瀬 裕

恒例の町内スポーツ大会  
が、9月8日、日曜日に、  
新築成った西小学校体育館  
で行われました。

ソフトボール、スマイル  
ボーリング、囲碁ボール、  
フットテニス、ペタンク  
の五種目を用意して何方に  
も参加して頂けるようにし  
ました。新しい種目はルー  
ルがわからず多少皆様の戸  
惑も有った様ですが、多く  
の人が色々な種目に挑戦し  
て頂き、有りがとう御座い  
ました。今回は時間もなく  
用意しましたので、対戦方  
法など今後工夫して行きたく  
いと思えます。

いただき和気藹々と競技に  
参加し、5位という成績を  
修めることが出来ました。

今年より子ども会育成会  
長をお引き受けし、子供達  
とつきあってみると、下紺  
の子供達はみな物事に真剣  
に取り組める素直な子供達  
です。普段接することの少  
ない触れあいの場としても  
有意義であったと思います。  
今後とも子供達に気軽に声  
を掛けていただき、見守つ  
ていただければと思います。

最後に私事にて夏の  
盛りに大変なご支援  
をいただきありがとうございました。  
うございました。



芋煮会が行われ多く  
の皆様にお集まり頂  
き、美味しく頂きま  
した。  
皆様の御協力有りがとう  
御座いました。

## 下紺屋町文化祭

下紺屋町副館長 村田 佳子

今回、分館の仕事をして  
頂く事となり、文化祭に  
一日参加させて頂きました。  
絵、版画、写真、盆栽、菊  
藍染の作品等、すばらしい  
才能と趣味をお持ちの方々  
が、町内にたくさんおられ  
る事を知り感心致しました。  
来年は、若い世代の方々の  
作品も、是非、お待ちしております。

午後は、宮川、三ツ石様  
によります謡曲、杵掛様の  
歌謡舞踊、役員、民謡部、



民謡部、詩吟部の方々の発  
表。どれも、凛とした空気  
を感じ拝見させて頂きまし  
た。  
又、小学生のかわいい手  
品、PTAのハンドベルの  
美しい音色の合奏、ソフト  
ボール部の楽しいガラクタ  
合奏等、楽しい一時を過ご  
させて頂きました。皆様、  
来年は懇親会への参加もお  
願い致します。すばらしい  
文化祭でした。

## 人権同和について

同和教育推進委員 佐藤 恵子

同和に関する特別措置法  
が本年3月を持って法期限  
を迎えましたが、部落差別  
に起因する差別事象が依然  
として発生していることか  
ら、今後も「同和教育」か  
らさまざまな人権問題に取  
り組みを広げた「人権同和  
教育」を推進していくこと  
になりました。

下紺屋町でも、前・後期  
に分けて計画し、前期は上  
田教育事務所生涯学習課の  
平林裕一先生に「すべての  
人の人権」と題し同和問題  
をはじめ、男女間の差別・

## 資源回収の現況

衛生第 部長 吉本 幹男

自治会の資源回収ステー  
ションは約420箇所あり、  
原則的に月一回回収を行っ  
ています。

このほかに、ウイークエン  
ドリサイクル(毎月第一、  
第四土曜日午前十時から正  
午まで、スパー等の駐車  
場)十ヶ所、支所回収(毎  
週水曜日午前九時から正午  
まで各支所でびん缶のみ)  
三ヶ所、上田クリーンセン  
ター(営業日)で拠点回収  
を実施しています。またP  
ETボトルについては、市  
内19のスパーに依頼し店  
頭回収をおこなっています。  
自治会資源回収に伴う奨  
励金は古紙、古布、びん、

子ども・高齢者・障害者・  
外国人・HIV感染者に関  
する問題などさまざまな人  
権問題という観点からわか  
りやすく有意義なお話をお  
聞きたいしました。また後  
期は、上田ローマン橋マ  
レットゴルフ場で青少年育  
成推進委員と合同のマレッ  
トゴルフ大会を行いました。  
本年は子どもさんの参加  
が多く楽しくコースを回っ  
てきたようです。お昼には  
差し入れていただいた豚汁  
で体をあたたため交流を深め  
ました。



缶それぞれの売却金が3円  
/kgに満たない場合は3円  
を最低補償として交付され  
ます。またPETボトルに  
ついては、奨励金はありま  
せん。交付時期については  
4月及び10月(4月から9  
月分を10月に、10月から3  
月分を4月に交付される)  
古紙、古布については毎月  
回収実績の仕切書が送付さ  
れて来ます。資源物を出し  
やすくするため、自治会の  
世帯数に応じ収納庫の設置  
費用の補助が行われ、(1  
基につき15万円を限度)と  
なっております。  
奨励金につきましては各  
自治会の会計に納められま  
すので皆様の御協力を願  
います。

## 下紺屋町商工振興会協力

|                                            |                                                   |                                               |                                             |
|--------------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------------------------------|
| <b>トクダデンキ</b><br>電話 22-2001<br>FAX 25-5656 | <b>(有)ミヤエンタープライズ</b><br>電話 24-3980<br>FAX 24-3980 | <b>(有)はぎわら印刷</b><br>電話 22-2329<br>FAX 22-4349 | <b>渋沢電設(株)</b><br>電話 22-1533<br>FAX 24-7408 |
| <b>理容 スギタ</b><br>電話 22-6058                | <b>竹内造園</b><br>電話 22-7605<br>FAX 26-6308          | <b>三豊食品(株)</b><br>電話 22-0081<br>FAX 22-0081   | <b>(株)関口商店</b><br>電話 22-2982(代)             |

### 民生にたづさわり

民生児童委員 小林富美子  
民生委員は、社会奉仕の精神をもって常に住民の立場に立つて相談に応じ、社会福祉の増進に努めその職務の遂行に当たっては、個人の人格を尊重し、身上に関する秘密を守り人種・信条・性別・社会的身分又は門地によって差別的又は優先的取扱をすることなくかつ、その処理は実情に即して合理的でなければならぬと自覚しております。

右の基本的精神により職務遂行に努めており、身近なサービスとして高齢者の生活を支援するものには次の様なものがあります。  
緊急通報装置設置・配食サービス・訪問指導・ホー

### 週休二日制始まる

三中 P.T.A 支部長 相良玲子  
毎週土曜日を休みにした完全学校週五日制が本年度から始まりました。

「ゆとり」の中で子供達の生きる力を、はぐくもうと始まったと聞いていますが、はたして「ゆとり」をもって休みを使っている子供達が、どれほど、いるでしょうか。戸惑いの方が多いと思います。

休みの日は遅くまで寝ていてかえって生活が不規則になったという状態です。地域との交流も下紺は他の地区に比べ行事も多いの

ムヘルプサービス・デイサービス等々、これらはおむね65歳以上の方のみの世帯或いは65歳以上のひとり暮らしの方が対象となり、例えばホームヘルプサービスは介護保険の対象とならない方で日常生活に支援が必要な方の買い物・調理・洗濯・掃除等の家事援助を週一回・二回行います。これは有料となります。生活支援サービスは市役所高齢者介護課でご相談をお受けしておりますが、民生委員はこの様な事について地域の皆様と行政との橋渡し役として活動して居ります。

今後地域の皆様のお役に立てます様がなりたいと思っておりますので、指導の程よろしくお願い致します。

ですが、子供達の数が少なくなつた事もあり行事への参加は、中学生になるとほとんどありません。

役員をはじめ、大勢の方々の協力があつて計画された行事なのに残念に思います。

週休二日をどう過ごせばいいのか。親は何をすればいいのでしょうか？

学校、地域、家庭がそれぞれの役割を、どの様に果たしていけばいいのか皆で考えていかなければいけないと思ひます。

これからも地域の皆様のご指導とご支援をよろしくお願ひいたします。

### 平成 14 年度 下紺屋町分館行事

- 1月 13日 どんど焼き(自治会主催)
- 2月 3日 道祖神、餅つき
- 3月 24日 小中学生歓送迎会
- 4月 21日 第20回ゲートボール大会 (西小校庭)
- 29日 西部地区少年少女スポーツ大会
- 5月 19日 第1回ファミリービーチ大会 (西小体育館)
- 6月 2日 第8回ビーチボール大会 (市体育館)
- 9日 PTAバザー
- 14日 人権同和問題懇談会
- 16日 第19回卓球大会 (市体育館)
- 23日 敬老会(白鳥園)
- 7月 20日~21日 祇園祭
- 27日 上田わっしょい
- 8月 14日~16日 盆踊り
- 9月 8日 町内スポーツ大会(西小体育館)
- 14日 育成推進委員(ザリガニ釣り)
- 10月 8日 市民大行進
- 20日 西部公民館運動会
- 23日 女性の為の地域づくり講座
- 11月 3日 下紺屋町文化祭
- 17日 小学生おたのしみ会
- 23日 公会堂大掃除

### 趣味のコナー

#### 俳句

○ 秋の秋も 山浦 正孝  
落ち葉掻く手を休めては 陽のかたむきを 感じつつ居る  
○ 木蓮の葉みな落ちて 梢のつばみ 陽に映えて立つ

#### 短歌

○ 切株や二人で掛ける温み 山浦 良一  
かな  
○ 毛虫焼く心に仏住まわせて  
○ 十葉をかげ千にして気の安し 小島 寛

### 編集後記

年間の催事を短期間にまとめるのは苦難の技。我ながら良く出来たと自讃の面々。どうぞご覧ください。ご投稿ありがとうございます。また、広告をご提供くださった下紺商工振興会の皆様、他の企業の皆様に心から御礼申し上げます。

### 富国木工株式会社

上田市天神3-10-28  
電話 23-8480

株式会社  
**ウッドテック秋富**  
小島郡真田町石舟5584  
電話 72-2003

### 下紺屋町商工振興会協力

グラフィックデザイン **あお・デザイン**  
あうるアトリエ  
ふくろう絵画  
電話 24-6175 FAX 24-4246

耳鼻咽喉科・外科  
**緑ヶ丘医院**  
電話 26-8737

呉服・洋品・小物  
アクセサリー  
ふくろう (絵画) ギャラリー  
有限会社  
**丸美や**  
電話 27-5298 FAX 22-0592

社会・労働保険、自動車・火災各種損害保険、生命保険  
**大知事務所**  
電話 22-5843